毎週木・金曜日配布　購読料無料　手配り

日本ABC協会加盟紙

ちいき新聞

2017年5月26日号
船橋中央版
発行部数44,115部
VOL.749　全57版
総発行部数2,126,799部

ちいき新聞に関するご意見・ご要望・お問い合わせは　読者サポート　0120-152-337　受付／平日10:00～18:00 ※土日祝日は休み　funa-chuo@chiikinews.co.jp

クーポンを使ってプレゼントを当てよう!
チャチャチャクーポン特集

創業25周年
水のトラブルはやっぱり
くらし安心ークラシアン
RACIAN
24時間受付 365日対応
出張費・点検・お見積もり 一切無料!
専用フリーダイヤル 0120-573-573

ボランティアのことなら…

「船橋市ボランティアセンター」へ!

ボランティアの歌声にうっとり

船橋市ボランティアセンター（船橋市本町2-7-8船橋市福祉ビル3階）は、ボランティアに関する相談や依頼、活動先の紹介など、「ボランティアをしたい」という気持ちをサポートしてくれる心強い存在だ。

ボランティア活動をする仲間が集う

ボランティアセンターはJR船橋駅から徒歩10分、千葉街道沿いの船橋市福祉ビル内にある。船橋市社会福祉協議会（市社協）が行っている事業の一つで、ボランティアをする人の拠点として、さまざまな支援を行っている。ボランティア活動とは「自らの意志で他人や社会のために行う非営利な活動」のこと。ここでは活動先を見つける手助けをしてくれたり、講座や研修会を定期的に実施したりしているので、未経験の人も安心して始められる。

施設の皆さんも一緒に盛り上がります

イベント時には人手も不足します

脳の活性化にもなるかも?!

イベント時のマジックもボランティアなんです

床だってピカピカにします!

あなたの趣味や特技を生かせる!

ボランティアセンターでは福祉施設や地域の中、自宅でできるボランティアなども紹介している。例えば高齢者施設では清掃や配膳をはじめ、話し相手や囲碁や将棋の相手も立派なボランティアとして歓迎される。また歌やダンスなどをイベント時に披露してくれる「芸能ボランティア」も募集中だ。サークル活動の発表の場として利用するのもお勧めで、施設利用者はとても喜んでくれるという。

身近な場所でボランティアをしたい人は、地区社会福祉協議会（地区社協）へ問い合わせをするとよい。各公民館が拠点となっていることが多いため、第一歩が踏み出しやすいだろう。

近年ボランティアに高い関心が寄せられているが、若い世代は県外の活動に着目する傾向で、比較的ボランティア登録者が少ないとのこと。またボランティアを独自に行っている人も、けがなどに備え「ボランティア保険」には加入してほしいという。

ボランティア活動は、決して「大変なこと」ではない。あなたの行動で喜ぶ誰かがいる、それを楽しむことはとてもすてきなことではないだろうか。（ゆき）

※問い合わせ
TEL 047(431)8808
FAX 047(431)2678
社会福祉法人船橋市社会福祉協議会　船橋市ボランティアセンター

中医学
漢方薬

小学生キビで悩ん(20歳)。ても治らずたいというへ。体にし、膿が出方薬を飲んでは友人どのキレ入れました

▼親身になって話を聞く営業商スタッ

ちいき

若い頃は梅雨に咲名があるのいた。一説朝に咲いてしおれてしさを「朝露とのこと夏は蛍、冬は雪。日かないから い」という の国の四季はっきりとったら、育はなかったう思うと、アジサイも美しく感じ